

償還報告書(全体版)

[繰上償還]

米ドル建て担保付貸付債権オープン
〈為替ヘッジあり〉(3ヵ月決算型)

愛称:守護神

第5期(決算日:2015年3月9日)

信託終了日:2015年3月18日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「米ドル建て担保付貸付債権オープン〈為替ヘッジあり〉(3ヵ月決算型)(愛称:守護神)」は、去る3月9日に第5期の決算を行い、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、3月18日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ投信

MUFJ

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

URL:<http://www.am.mufj.jp/>

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/その他資産(バンクローン)	
信託期間	2015年3月18日[当初、2023年12月7日]まで(2014年1月8日設定)	
運用方針	主として円建ての外国投資法人であるインベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンド-ジャパン(日本円ヘッジ)の投資信託証券への投資を通じて、米ドル建てのバンクローン(貸付債権。以下同じ。)等に実質的な投資を行い、利子収益の確保をめざします。当該外国投資法人においては、米ドル建てのバンクローンのほか、米ドル建てのバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券や米国債等にも投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資法人への投資は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として投資する外国投資法人において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。投資信託証券への運用の指図に関する権限は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に委託します。	
主要運用対象	米ドル建て担保付貸付債権オープン〈為替ヘッジあり〉(3ヵ月決算型)	インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンド-ジャパン(日本円ヘッジ)およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンド-ジャパン(日本円ヘッジ)	インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドへの投資を通じて、米ドル建てのバンクローン等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

営業企画推進部
お客様専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆ 目 次

米ドル建て担保付貸付債権オープンく為替ヘッジあり> (3ヵ月決算型) のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇1万口当たりの費用明細	7
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	8
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	9
◇資産、負債、元本及び償還価額の状況	10
◇損益の状況	11
◇投資信託財産運用総括表	12
◇償還金のお知らせ	12
◇お知らせ	12

投資対象ファンドのご報告

◇インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン (日本円ヘッジ)	13
◇マネー・マーケット・マザーファンド	15

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 配 金	騰 落 率				
(設定日) 2014年1月8日	円 銭 10,000	円	%	%	%	%	百万円 3,506
1期(2014年3月7日)	9,965	0	△0.4	0.1	—	99.0	3,732
2期(2014年6月9日)	9,977	10	0.2	0.1	—	99.0	3,713
3期(2014年9月8日)	9,938	0	△0.4	0.1	—	99.2	2,741
4期(2014年12月8日)	9,801	0	△1.4	0.1	—	99.0	2,502
5期(2015年3月9日)	9,647	0	△1.6	0.2	—	—	1,339
(償還時)	(償還価額)						
6期(2015年3月18日)	9,644.64	—	△0.0	—	—	—	1,325

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に実質的な投資を行い、利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率			
第5期	(期首)	円 銭	%	%	%	%	
	2014年12月8日	9,801	—	0.1	—	99.0	
	12月末	9,664	△1.4	0.1	—	99.0	
	2015年1月末	9,654	△1.5	0.2	—	99.0	
	2月末	9,656	△1.5	0.2	—	99.0	
第6期	(期末)						
	2015年3月9日	9,647	△1.6	0.2	—	—	
第6期	(期首)						
	2015年3月9日	9,647	—	0.2	—	—	
	(償還時)	(償還価額)					
	2015年3月18日	9,644.64	△0.0	—	—	—	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

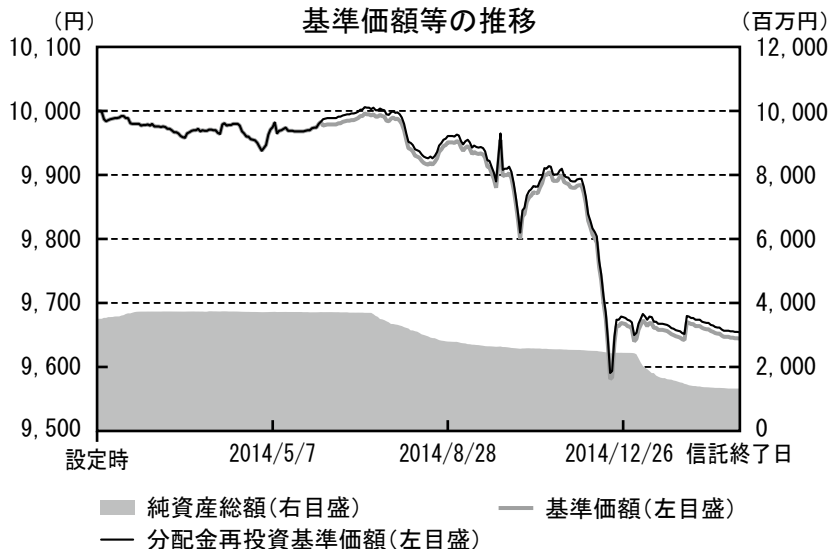
運用経過

設定来の基準価額等の推移について

(第1期～第6期：2014/1/8～2015/3/18)

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ3.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の変動要因

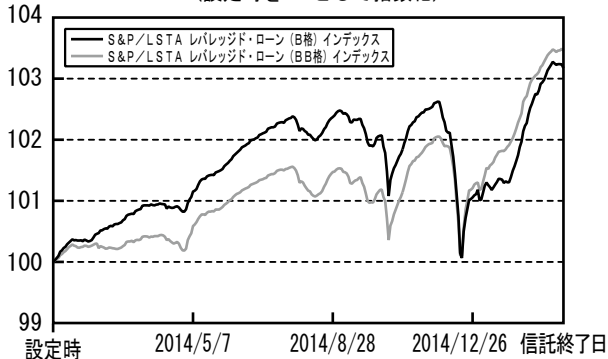
下落要因

ファンドで保有しているエネルギーセクターなど一部のバンクローン価格の下落のほか、大口解約に伴うバンクローンの売買コストや信託報酬等が基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第1期～第6期：2014/1/8～2015/3/18)

(ご参考)
バンクローン市況の推移
 (設定時を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

(注) S&P/LSTA レバレッジド・ローン・インデックスとは、S&P社と米国のローン市場の業界団体であるLSTA（ローン・シンジケート・アソシエーション・アンド・トレーディング・アソシエーション）との提携のもとに算出されている、バンクローンの値動きを示す代表的なインデックスです。

◎バンクローン市況

米ドル建てバンクローン市況（S&P/LSTAによる代表的な指数を参照しています）は上昇しました。

- ・設定時から2014年7月下旬にかけては、アルゼンチンペソの急落を契機に新興国に対する懸念が高まったことやウクライナ情勢が緊迫化したことなどを背景に投資家心理が悪化し、バンクローン市況が一時軟調に推移する局面がみられたものの、米国経済が回復基調で推移するとの期待からリスク選好的な動きが継続したことなどを受け、上昇基調で推移しました。
- ・7月下旬から12月中旬にかけては、ウクライナ情勢や香港の民主化デモなど地政学的リスクが高まったこと、世界的に株式市況が急落したこと、原油価格が急落したことなどを背景に投資家のリスク回避的な動きが強まったことがスプレッド（国債に対する上乗せ金利）の拡大要因となり、バンクローン市況は下落しました。
- ・12月中旬から信託終了日にかけては、株式市況が反転・上昇したこと、原油価格に下げ止まりの兆しがみられたことなどがスプレッドの縮小要因となり、バンクローン市況は急速に上昇しました。

◎為替

- ・米ドルの円に対する為替変動リスクに関しては、高水準の為替ヘッジを行ったため、円・米ドル為替市況の変動が基準価額に与える影響は限定的となりました。

◎国内短期金融市場

- ・設定以来の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年3月18日のコール・レートは0.075%となりました。なお、日銀は2014年10月31日にマネタリーベース増加額および資産買入れ額の拡大などの「量的・質的金融緩和」の拡大を決定しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<第1作成期(第1期~第2期)2014年1月8日~2014年6月9日>

<米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>(3ヵ月決算型)>

基準価額は0.1%(分配金再投資ベース)の下落となりました。

- ・当ファンドは、円建ての外国投資法人である「インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン(日本円ヘッジ)」を高位に組み入れた運用を行いました。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

<インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン(日本円ヘッジ)>

基準価額は0.4%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。

- ・円建外国投資法人においては、米ドル建てバンクローンの比率を概ね80~90%程度、米ドル建てバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券を概ね15%程度組み入れました。投資を行う外国投資法人において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は0.03%の上昇となりました。

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。
- ・前記のような運用を行った結果、バンクローン市況が上昇した他、バンクローン利子収入を享受したことはプラス要因となりましたが、信託報酬等の要因により、基準価額は設定時と比べて小幅ながら下落しました。

<第2作成期(第3期~第4期)2014年6月10日~2014年12月8日>

<米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>(3ヵ月決算型)>

基準価額は1.8%の下落となりました。

- ・当ファンドは、円建ての外国投資法人である「インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン(日本円ヘッジ)」を高位に組み入れた運用を行いました。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

<インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン(日本円ヘッジ)>

基準価額は1.2%(分配金再投資ベース)の下落となりました。

- ・作成期首から2014年9月下旬にかけては、円建外国投資法人において、米ドル建てバンクローンの比率を概ね80~90%程度、米ドル建てバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券を概ね15%程度組み入れました。投資を行う外国投資法人において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。
- ・9月下旬には、円建外国投資法人において、大口の解約に対する資金対応のため、バンクローン組入比率を50%程度に引き下げました。その後、再びバンクローン組入比率を引き上げたものの、当作成期末にかけては、円建外国投資法人において、今後もバンクローン市場の変動性が高まる懸念があること、ファンドの規模や資金動向等を勘案し流動性確保が必要と考えたことから、バンクローン組入比率は80%を下回る水準に維持しました。また、この間、

米ドル建てバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券を概ね5～15%程度組み入れました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は0.02%の上昇となりました。

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。
- ・前記のような運用を行った結果、バンクローン利子収入を享受したことはプラス要因となりましたが、前述の大口解約に伴うバンクローンの売買コストやエネルギーセクターなどを中心としたバンクローン価格の下落等の要因により、基準価額は当作成期首と比べて下落しました。

<第3作成期（第5期～信託終了日）2014年12月9日～2015年3月18日>

<米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>（3ヵ月決算型）>

基準価額は1.6%の下落となりました。

- ・当ファンドは、円建ての外国投資法人である「インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン（日本円ヘッジ）」を高位に組み入れた運用を行いました。米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>（3ヵ月決算型）の繰上償還を受けて、2015年3月9日に組入比率をゼロにしました。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。3月10日に組入比率をゼロにしました。

<インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン（日本円ヘッジ）>

基準価額は1.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

- ・2015年1月中旬にかけては、円建外国投資法人において、引き続きバンクローン市場の変動性が高まる懸念があること、ファンドの規模や資金動向等を勘案し流動性確保が必要と考えたことから、バンクローン組入比率は80%を下回る水準で維持しました。また、この間、米ドル建てバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券を概ね15%程度組み入れました。投資を行う外国投資法人において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。
- ・1月中旬には、解約の急増に伴う流動性の確保に加え、バンクローンの流動性や株式や債券と比較して決済に時間を要するという特殊性に鑑み、繰上償還準備のためバンクローンなどを全売却しました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額はほぼ横ばいとなりました。

- ・コール・ローンや現先など短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。
- ・前記のような運用を行った結果、バンクローン利子収入を享受したことはプラス要因となりましたが、当作成期首から1月中旬にかけてはエネルギーセクターなどを中心とした組入バンクローンの価格が下落したことに加え、売買コスト等の要因により、償還価額は当作成期首と比べて下落しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等を実質的な投資を行い、利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用しました。信託期間中は第2期に10円とさせていただきます、その他の期につきましては見送りとさせていただきます。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第5期	
	2014年12月9日～2015年3月9日	
当期分配金	—	
(対基準価額比率)	—%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	177	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

償還価額

償還価額は9,644円64銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○1万口当たりの費用明細

(2014年12月9日~2015年3月18日)

項 目	第5期~第6期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 31	% 0.320	(a)信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(10)	(0.104)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価(再委託先の報酬を含みます。)
(販 売 会 社)	(20)	(0.207)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.009)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	31	0.321	
作成期中の平均基準価額は、9,658円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年12月9日～2015年3月18日)

投資信託証券

銘柄		第5期～第6期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンド・ジャパン (日本ヘッジ)	千口 1	千円 12,735	千口 256	千円 2,445,567

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第5期～第6期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 3,445	千円 3,508

○利害関係人との取引状況等

(2014年12月9日～2015年3月18日)

利害関係人との取引状況

<米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>(3ヵ月決算型)>

該当事項はございません。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

区分	第5期～第6期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	4,799	2,099	43.7	4,300	700	16.3
現先取引(公社債)	13,180	4,500	34.1	13,280	4,500	33.9

平均保有割合 0.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2015年3月18日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第4期末	
		口	数
インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンド-ジャパン(日本円ヘッジ)			千口 255
合	計		255

(注) 比率は米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>(3ヵ月決算型)の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第4期末	
		口	数
マネー・マーケット・マザーファンド			千口 3,445

○投資信託財産の構成

(2015年3月18日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
	コール・ローン等、その他	1,325,894	100.0
	投資信託財産総額	1,325,894	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況

項 目	第5期末	償 還 時
	2015年3月9日現在	2015年3月18日現在
	円	円
(A) 資産	1,351,139,781	1,325,894,543
コール・ローン等	15,024,162	1,325,892,474
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	3,508,380	-
未収入金	1,332,607,214	-
未収利息	25	2,069
(B) 負債	11,453,203	382,924
未払解約金	5,914,625	-
未払信託報酬	5,524,284	381,939
その他未払費用	14,294	985
(C) 純資産総額(A-B)	1,339,686,578	1,325,511,619
元本	1,388,662,734	1,374,350,031
次期繰越損益金	△ 48,976,156	-
償還差損金	-	△ 48,838,412
(D) 受益権総口数	1,388,662,734口	1,374,350,031口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,647円	-
1万口当たり償還価額(C/D)	-	9,644円64銭

○損益の状況

項 目	第5期	第6期
	2014年12月9日～ 2015年3月9日	2015年3月10日～ 2015年3月18日
(A) 配当等収益	12,192,125	15,429
受取配当金	12,185,641	—
受取利息	6,484	15,429
(B) 有価証券売買損益	△27,949,569	459
売買益	11,759,652	—
売買損	△39,709,221	459
(C) 信託報酬等	△5,538,578	△382,924
(D) 当期損益金(A+B+C)	△21,296,022	△367,036
(E) 前期繰越損益金	△27,554,630	△48,347,165
(F) 追加信託差損益金	△125,504	△124,211
(配当等相当額)	(7,692)	(7,612)
(売買損益相当額)	(△133,196)	(△131,823)
(G) 計(D+E+F)	△48,976,156	—
(H) 収益分配金	0	—
次期繰越損益金(G+H)	△48,976,156	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	△48,838,412
追加信託差損益金	△125,504	—
(配当等相当額)	(7,692)	(—)
(売買損益相当額)	(△133,196)	(—)
分配準備積立金	24,647,533	—
繰越損益金	△73,498,185	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首(前作成期末)元本額 2,553,127,257円
 作成期中追加設定元本額 103,520円
 作成期中一部解約元本額 1,178,880,746円
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は48,838,412円です。
- ③ 分配金の計算過程

		第5期
費用控除後の配当等収益額	A	6,653,738円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	7,692円
分配準備積立金額	D	17,993,795円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	24,655,225円
当ファンドの期末残存口数	F	1,388,662,734口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	177円
1万口当たり分配金額	H	—円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円

- ④ 信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の2以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年1月8日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2015年3月18日		資産総額	1,325,894,543円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	382,924円
				純資産総額	1,325,511,619円
受益権口数	3,506,656,559口	1,374,350,031口	△2,132,306,528口	受益権口数	1,374,350,031口
元本額	3,506,656,559円	1,374,350,031円	△2,132,306,528円	1万円当たり償還金	9,644円64銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	3,745,881,274円	3,732,756,289円	9,965円	0円	0.0%
第2期	3,721,737,498	3,713,335,169	9,977	10	0.1
第3期	2,758,192,181	2,741,209,870	9,938	0	0.0
第4期	2,553,127,257	2,502,237,386	9,801	0	0.0
第5期	1,388,662,734	1,339,686,578	9,647	0	0.0

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金(税込み)	9,644円64銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費(申込手数料(税込)を含みます。)を控除した利益(譲渡益)が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座(源泉徴収選択口座)を利用する場合、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

[お知らせ]

当ファンドは、受益権の口数が信託約款に定められた口数を下回っており、信託約款を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。

(2015年3月18日)

<参考>投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン（日本円ヘッジ）	マナー・マーケット・マザーファンド
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドへの投資を通じて、米ドル建てのバンクローン等に実質的な投資を行い、利子収益の確保をめざします。 ・米ドル建てのバンクローンのほか、米ドル建てのバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券や米国債等にも投資を行います。 ・原則として、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	米ドル建てバンクローン等	わが国の公社債等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、純資産総額の80%以上を米ドル建てのバンクローンに投資します。 ・原則として、純資産総額の20%まで、米ドル建てのバンクローンを主な投資対象とする上場投資信託証券や米国債等に投資できるものとします。 ・原則として、取得時においてB-格相当以上の格付けを有するバンクローンに投資します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等を行うことができません。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。
決算日	原則として毎年8月31日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	投資運用会社はその裁量によって、原則として毎月収益分配を発表する意向ですが、収益分配を保証するものではありません。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

(1) 運用計算書

- (A) インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン（日本円ヘッジ）
信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載していません。
- (B) マネー・マーケット・マザーファンド
18頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 純資産変動計算書

- インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン（日本円ヘッジ）
信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載していません。

(3) 投資有価証券明細表

- (A) インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンドー・ジャパン（日本円ヘッジ）
信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載していません。
- (B) インベスコ・シニア・セキュアード・バンク・ローン・ファンド
信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載していません。
- (C) マネー・マーケット・マザーファンド
17頁の組入資産の明細をご参照ください。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第20期》決算日2014年11月20日

[計算期間：2014年5月21日～2014年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第20期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2014年5月20日	円 10,180	% —	% 84.7	% —	
5月末	10,180	0.0	88.4	—	
6月末	10,181	0.0	87.7	—	
7月末	10,181	0.0	84.1	—	
8月末	10,181	0.0	86.8	—	
9月末	10,182	0.0	82.4	—	
10月末	10,182	0.0	90.2	—	
(期 末) 2014年11月20日	10,183	0.0	84.3	—	

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

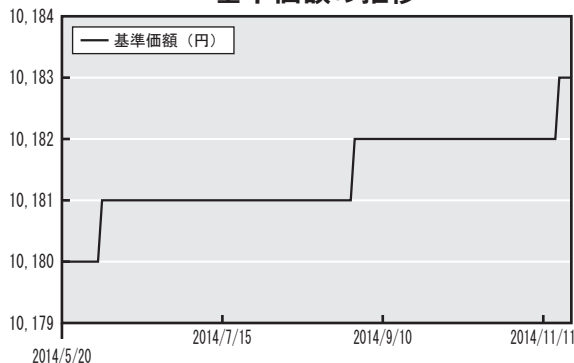
(注) 純資産総額は、期首2,716百万円、期末2,373百万円。

当期の運用経過

◆ 基準価額の推移

基準価額は期首に比べ0.03%の上昇となりました。

基準価額の推移



◆ 基準価額の変動要因

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2014年11月20日のコール・レートは0.066%となりました。なお、日銀は10月31日にマネタリーベース増加額および資産買入れ額の拡大などの「量的・質的金融緩和」の拡大を決定しました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

今後の運用方針

◆ 運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持

することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◆ 今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、引き続き残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

1 万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

当期中に発生した費用はありません。

売買および取引の状況

(2014年5月21日～2014年11月20日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	4,660,168	559,994 (4,400,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子は含まれておりません。)

(注) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

組入資産の明細

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債の種類別開示

区分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	2,000,000 (1,350,000)	2,000,418 (1,350,056)	84.3 (56.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	84.3 (56.9)
合計	2,000,000 (1,350,000)	2,000,418 (1,350,056)	84.3 (56.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	84.3 (56.9)

(注) () 内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内（邦貨建）公社債の詳細開示（個別銘柄別）

2014年11月20日現在

種類	銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	第475回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/11/25	
	第476回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/1	
	第479回国庫短期証券	—	150,000	149,999	2014/12/15	
	第481回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/22	
	第482回国庫短期証券	—	100,000	100,001	2015/1/8	
	第486回国庫短期証券	—	100,000	99,999	2014/12/3	
	第490回国庫短期証券	—	100,000	100,006	2015/2/9	
	第492回国庫短期証券	—	100,000	100,008	2015/2/16	
	第493回国庫短期証券	—	200,000	200,041	2015/2/23	
	第326回利付国債（2年）	0.1	200,000	200,060	2015/3/15	
	第327回利付国債（2年）	0.1	100,000	100,038	2015/4/15	
	第331回利付国債（2年）	0.1	200,000	200,144	2015/8/15	
	第332回利付国債（2年）	0.1	150,000	150,120	2015/9/15	
	合計			2,000,000	2,000,418	

投資信託財産の構成

2014年11月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,000,418	84.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	372,977	15.7
投 資 信 託 財 産 総 額	2,373,395	100.0

資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年11月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,373,395,647円
コール・ローン等	372,850,572
公社債(評価額)	2,000,418,450
未 収 利 息	78,819
前 払 費 用	47,806
(B) 負 債	869
未 払 解 約 金	869
(C) 純資産総額(A-B)	2,373,394,778
元 本	2,330,826,446
次期繰越損益金	42,568,332
(D) 受 益 権 総 口 数	2,330,826,446口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

損益の状況

(2014年5月21日~2014年11月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	520,435円
受 取 利 息	520,435
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	40,329
売 買 益	131,700
売 買 損	△ 91,371
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	560,764
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	48,112,637
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	26,511,377
(F) 解 約 差 損 益 金	△32,616,446
(G) 計 (C + D + E + F)	42,568,332
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	42,568,332

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

①期首元本額	2,668,018,452円	
期中追加設定元本額	1,459,518,984円	
期中一部解約元本額	1,796,710,990円	
②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)		
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド		245,571,395円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド (毎月決算型)		5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		22,407,722円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		2,727,794円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)		170,286円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		126,013,765円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		231,818,919円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)		429,650円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		11,926,122円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		679,345,083円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)		197,649円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)		1,799,230円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド		3,156,423円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		248,106円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		712,999円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		1,490,575円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<新興国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		446,819円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		2,188,822円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		614,937円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (毎月分配型)		68,417,834円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)		3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)		35,941,494円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		938,449円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		1,787,931円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		8,737,199円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		43,480,808円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		10,108,332円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		4,071,402円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		68,076,479円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		757,771円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)		1,232,040円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		138,108,832円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		2,221,253円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)		2,971,153円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		2,576,702円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		3,148,614円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		67,305円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		13,171,200円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)		78,483,503円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		3,143,477円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		2,669,954円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		10,889円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		20,706円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)		491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)		98,368円
三菱UFJ/UBS グローバル好利回りCBファンド2012-11 (円ヘッジ) (限定追加型)		10,816,126円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)		89,100,298円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)		266,340円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)		472,643円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)		40,301円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース> (年2回分配型)		20,637円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)		2,438,810円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)		7,176,471円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		1,071,498円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)		19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)		491,449円

三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	15,049,666円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	5,519,741円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	536,847円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	470,711円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	303,811円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	100,461円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	1,475,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	980,118円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	3,270,787円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,168,184円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UFJ/UBS グローバル好利回りCBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982,608円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり> (3ヵ月決算型)	3,445,331円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	151,268円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	41,258円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	633,556円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	235,745円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	1,565,662円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	320,205円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	18,797,761円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	3,312,052円
Navio インド債券ファンド	885,566円
Navio マネープールファンド	3,999,901円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネープールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	116,474円
MUAMトビックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	124,156,095円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	16,982,851円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	34,396,392円
合計	2,330,826,446円